

令和7年度 第2回 政策調整会議 会議録

◆開催日時：令和7年9月24日（水） 9：56～10：21

◆開催場所：第2委員会室

◆出席委員：藤浪副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長、谷口総務部長、
新内財務部長

◆説明者：田中企画課長、大山分権担当主幹、新原担当員

◆審議事項

令和8年度における組織機構の編成について・・・・・・・・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈藤浪副市長〉こども家庭応援部で、「子」の表記を漢字からひらがなに変えるということについて、組織の名前だけを変えるだけにとどまるのか、行政文書については漢字とひらがなが混在するのか、意識づけの観点も考慮してその辺りの取扱いを調整しておいてほしい。環境農林水産部の担当名については調整中との話も聞いているが、担当の役割が分かるような名称にしても良いのではないか。

組織機構の再編もある程度計画的に進めていく必要があると感じている。その時々
の社会情勢でいろいろな修正をしなければならないが、来年度の編成で考えていること
等、計画的なものを示しても良いと感じる。

〈分権担当主幹〉来年度にあたる令和9年度の編成における課題等については、年度末の組織機構検討
委員会で報告しており、今年度も内容を調整して報告する。

環境農林水産の担当名については、最終的には部の意向によって決定することになる
ものの、変更して投げかける方向で調整する。

〈総合政策部長〉特別職にも内容を説明する機会を作るよう検討する。

〈岸 副 市 長〉全体としては、常に市民ファーストという意識を重点的に考えてほしい。ワンストッ
プ対応等、窓口の利便性の向上を重視して再編を考えてほしいと思う。一方で、職員
がやりがいを持って働ける体制もめざさないといけない。職員がやりがいを持つこと
が、市民サービスの向上にも繋がると思うので、そのあたり考慮してほしいと思う。
組織機構の再編は全体を見渡して行うものであるもので、ある程度の旗振りは必要であ
る。再編を検討する中で厳しい意見が出ることもあるだろうが、理由をきちんと説明
した上で、自信を持って進めてほしい。

〈教 育 長〉12月議会での条例改正との説明があったが、資料で「再編イメージ」となっている部
分との関係性について確認したい。

〈分権担当主幹〉「再編イメージ」については、担当の編成にかかるものである。担当の編成につい
ては、行財政改革課で要員の照会もしているところである。担当については条例改正で

議会に諮らず、要綱で決定する形になる。

〈教 育 長〉こども政策課については、教育委員会も関係するセクションだと考えている。新しい施政方針の中で子育て、教育を重点化するという点においても、こども政策課が部局横断的な課題にどう対応するのか教えてほしい。

〈分権担当主幹〉現在、こども家庭庁からさまざまな子育て支援施策が通知された時に、一定の方向性を検討した上で、どの課で所管するかまで調整してもらうことになる。

〈教 育 長〉これまで所管の調整に時間を取られ、肝心の政策議論が十分にできないことがあった。そんな中、こども家庭庁は省庁横断的な課題について捌く機能を持っている。本市で設置するこども政策課についても、所管が明らかでないもの、あるいは新たな業務については、所管が決まるまでの間に対応するところとして理解した。

学校との接続強化についても、こども政策課の所管の中であげている。かけ橋期のプログラム充実、小一プロブレムをなくすため、民間と公立問わず、幼稚園、こども園、保育所と、小学校との接続を円滑にするための会議体を設けて、教育委員会が主催をしている。今後も基本は教育委員会で主催したいと思っているが、こども政策課ができた段階で、あるいはできる前の間でも、幼・保・こ・小を繋がる会議という組織体の所管についても、議論しておいた方が良いと思う。

〈総合政策部長〉内容について一部修正の上、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案を一部修正の上、政策決定会議に付議する。

令和7年 9月 11 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和8年度における組織機構の編成について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	「今後の組織・機構編成の方針」(令和元年度改訂)に基づき、本市がめざすまちづくりの方向性を実現するため、効果的・効率的に業務を執行できるよう令和8年度の組織機構の編成案について付議するものです。
説明者 (部長は説明者に含まない。)	田中 企画課長 大山 分権担当主幹 新原 担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和7年度 第2回会議
付議事項	令和8年度における組織機構の編成について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	行政サービスを適切に提供するため、効果的かつ効率的な組織編成を行う。

★総合計画上の位置付け

6020203	基本目標	みんなでつくる持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	合理的な組織編成と適正な人員管理に努める

★現状と課題

本市の組織機構については、「今後の組織機構編成方針」(令和元年度改訂)に基づき、新庁舎の完成を見据えつつ、社会情勢の変化や市民ニーズに応えるため、随時の見直しを行ってきた。
令和8年度においては、子ども家庭応援部の分掌事務の追加(総合計画の重点目標に掲げる子育てしやすい岸和田の実現)など本市において早急に着手すべき課題に対応し、本市がめざすまちづくりの方向性を実現するため、効果的かつ効率的に業務を遂行できる組織機構について検討している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名						目標値				
						R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。